

## 【中学校国語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

| 本校の概要  | 今回の調査における課題   | 改善の方向  |
|--|---|--|
| <p>【領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□「言葉の特徴や使い方に関する事項」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均を下回っている。</li> </ul> </li> <br/> <li>□「話すこと・聞くこと」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均を下回っている。</li> </ul> </li> <br/> <li>□「書くこと」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均を下回っている。</li> </ul> </li> <br/> <li>□「読むこと」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均を下回っている。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●文脈に即して漢字を正しく使うことができること。</li> <br/> <li>●事象や行為を表す語句について理解すること。</li> <br/> <li>●相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。</li> <br/> <li>●読み手の立場にたって、表現を確かめて、文章を整えることができること。</li> <br/> <li>●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の中で用いられる表現の技法について理解を深める指導の充実。</li> <br/> <li>○情報の中にある具体と抽象との関係を捉えることができるようになる指導の充実。</li> <br/> <li>○話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて考えをまとめる指導の充実。</li> <br/> <li>○伝えようとすることが伝わるかどうか、文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けや語句の選び方・使い方が適切かどうかを確かめながら自分の書いた文章を見直す活動の充実。</li> <br/> <li>○表現の効果について、自分の考えの根拠を上げながら、書いたり発表したりする活動の充実。</li> </ul> |

## 【中学校数学】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

| 本校の概要   | 今回の調査における課題   | 改善の方向  |
|---|---|--|
| <p>【領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「数と式」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均を下回っている。</li> </ul> </li> <br/> <li>□ 「図形」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均を下回っている。</li> </ul> </li> <br/> <li>□ 「関数」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均を下回っている。</li> </ul> </li> <br/> <li>□ 「データの活用」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均を下回っている。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。</li> <br/> <li>●統合的、発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善すること。</li> <br/> <li>●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できること。</li> <br/> <li>●不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明ができるこ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文字を用いた式を活用して、数量や数量の関係を簡潔、明瞭で一般的に表現し、処理することによって得た結果を問題に即して解釈することができる活動の充実。</li> <br/> <li>○図形の性質を考察する場面において、ある事柄が成り立つことを数学的な表現を用いて説明するとともに、解決過程を振り返り、得られた結果を意味づけたり活用したりする活動の充実。</li> <br/> <li>○表、式、グラフなどを用いて問題解決する場面を設定し、それらの用い方について数学的に説明する活動の充実。</li> <br/> <li>○不確定な事象を考察する場面において、場合の数を基にして得られる確率を用いて事象の起こりやすさの傾向を捉えて判断するとともに、その判断の理由を確率を根拠として説明する活動の充実。</li> </ul> |

## 【中学校理科】公開問題の結果から見る、教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

| 本校の概要  | 今回の調査における課題   | 改善の方向   |
|--|---|---|
| <p>【領域】</p> <p>□ 「エネルギー」<br/>・全国平均を下回っている。</p> | <p>●考察をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明すること。</p>        | <p>○観察、実験の結果を分析・解釈する力を育むため、探究の過程を調整して実験を計画したり、考察の妥当性を高めるための追加の実験や情報収集を行ったりする学習活動の充実。</p>                            |
| <p>□ 「粒子」<br/>・全国平均を下回っている。</p>                | <p>●化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すなど質的・実体的な視点で捉えること。</p>           | <p>○目に見えない粒子をイメージし、微視的に事象を捉えるために、1人1台端末を使用して、原子や分子のモデルを動かし、生徒が試行錯誤できるような学習活動の充実。</p>                                |
| <p>□ 「生命」<br/>・全国平均を下回っている。</p>                | <p>●水の中の生物を観察する場面において、観察した生物の共通点と、生命を維持する呼吸の知識とを関連付けて、生命を維持する働きに関する知識を概念として身に付けること。</p> | <p>○「呼吸を行う」、「光合成を行う」などの生物の共通点や相違点を挙げ、生命を維持する働きに関する知識を基に、それらの特徴からいろいろな生物について考察する学習場面活動の充実。</p>                       |
| <p>□ 「地球」<br/>・全国平均を下回っている。</p>                | <p>●大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現すること。</p>             | <p>○時間的・空間的な見方を働かせて、過去に起きたと考えられる事象を推論したり、地層の広がり方を推論したりできるようにするために、科学的根拠に基づいて地層の広がりや大地の変化について考察したことを表現する学習活動の充実。</p> |

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査

## 質問紙調査の結果概要及び改善の方向等について

| 本校の概要   | 今回の調査における課題   | 改善の方向   |
|---|---|---|
| <p>【学習・生活について】</p> <p>□学校の授業時間以外に、平日や休日に計画を立てて家庭学習をする習慣が身に付いていない生徒の割合が、昨年度の本校生徒の結果と比べると多くなっているが、今年度の全国平均と比べると少ない。</p> <p>□毎日同じくらいの時間に寝ている生徒の割合が、昨年度の本校生徒の結果と比べると多くなっていて、今年度の全国平均と比べるとやや少ない。</p> <p>【生徒の内面について】</p> <p>□先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う割合は、昨年度の本校生徒の結果と比べるとやや多くなっているが、全国平均と比べるとやや少ない。</p> <p>【学校生活について】</p> <p>□学校に行くのは楽しいと感じている生徒の割合は、昨年度の本校生徒の結果と比べるとやや多くなっているが、全国平均と比べるとやや少ない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭学習を習慣化できていない生徒がいること。</li> <li>●1・2年生の基礎学力が定着できていない生徒がいること。</li> <li>●基本的生活習慣を確立できていない生徒がいること。</li> <li>●将来の夢や目標を持てていない生徒が多いこと。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>●教職員全員が、生徒の自己肯定感をより高められるように努めてきたが、まだ自己肯定感が高い生徒がいること。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>●昨年度の反省を受けて、改善されているが、各教科の授業を中心とした学習活動や学級活動等を含めた学校生活全般への取組が積極的でない生徒がいること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員全員で生徒が意欲的に取り組むことができる教材の工夫と基礎的な学力の定着を図れるよう努める。</li> <li>○生徒に応じた家庭学習への取組方法についての助言をする。</li> <li>○遅刻をする生徒が多いので、声掛けを継続する。</li> <li>○キャリア学習を通して、様々なものに興味・関心を持つてもらうような授業の工夫をする。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員全員が、授業をはじめ、学校生活の中で生徒の良いところを見つけたら、ほめることに徹し、生徒の自己肯定感をより高められるよう一層努める。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員全員が生徒を温かく励まし、様々なことに前向きに挑戦できるよう支援することによって、生徒が少しでも達成感を得て、学校が楽しいと感じられるよう努める。</li> </ul> |